

保育における行事教育についての一考察

～保護者向けアンケートの結果より～

A study of the significance of event education in childcare.

～From the results of a survey for parents～

賀 門 康 博*

Yasuhiro Kamon

In this study, I surveyed parents about event education in childcare and explored their awareness. From the results of the questionnaire, we were able to see differences in awareness depending on the type of work. The difference is that the part-time workers showed a higher percentage of willingness to cooperate with events than other groups. There is a tendency to polarize the working style of mothers in infancy. It is important for parents and kindergartens to think together about the significance of event childcare for children's development.

はじめに

令和2年から始まったコロナ禍。令和4年の現在も未だ日本では大きく状況は変わらず、保育環境もマスクの着用や食事時のパーティション設置など、本来であれば不要な制限や対応が行われている。それは通常の保育に限らず教育課程上、園児に対して必要な経験として行っている各種行事の実施にも大きな影響を及ぼしている。制限された状況下で各園がそれぞれの教育(保育)理念に則った保育を行う様に、工夫を凝らしながらそれぞれの行事も実施している。例えば次に挙げる資料は千葉県千葉市が各園宛に出している公立保育所の活動・行事の取り入れ方についての参考資料(令和2年8月31日付)を一部抜粋したものである。¹⁾

行事について

- ・お祭り・・・保護者は参加せず、児童と活動の中で実施可能。一斉でなく、クラス単位等3密を避ける方法で行う。
- ・運動会・・・保護者の参加人数を環境に応じて制限するなど、3密にならないようにする。3歳未満児3歳以上児を別々の日にする、クラスや年齢単位、短時間で行う等工夫する。または少人数での保育参加に変更する等各保育所の状況に合わせて実施する。
- ・修了児遠足・・・新型コロナウイルス感染症の流行状況に応じて、公共交通機関を利用せず、近隣の公園などに変更する等検討していく。
- ・歌、リトミック等は互いが向き合わないようにし、換気をしたり、戸外で行ったりするなど工夫する。

これは一例ではあるが、全国の園も工夫しながら行事等を行っているが、いわゆる三密を避

※ 郡山女子大学附属幼稚園

けるために園児同士の関係性に関連する経験や成長において、大きく損なわれていることは想像に難くない。

この様にコロナ禍においてなんとか形にして園文化、教育意義の一つである行事を行う努力が見られる一方で、そもそも行事を行う意義について考えさせられる面もある。次の表は日本の保育施設では良くある行事の幾つかであるが、それらは外国ではどのような位置づけであるかをまとめたものである。²⁾

【表1】諸外国の幼児期における施設行事について

	アメリカ	イギリス	フランス	デンマーク	フィンランド	韓国	中国
入園式	特に無し	特に無し(※)	特に無し	特に無し	少し集まる程度	あり	あり
卒園式	あり(※)	施設・園による(※)	特に無し	特に無し	あり(※)	あり	特に無し
遠足	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
運動会	Field Day (個人競技)	Sports Day (個人競技、ゲーム)	特に無し	特に無し	特に無し	あり(※)	あり
発表会(学芸会)	特に無し	不明 (特に無しと思われる)	あり(※)	特に無し	あり(スプリング・パーティーとして)	あり	あり
クリスマス会	あり	あり	あり	あり	あり	あり	無し

※カジュアルな服装がメイン

※入・卒園のタイミングが個人でバラバラなため

※慈善バザー的なケルメスとして

※スプリング・パーティー

※練習はしない

より調査対象を広げたり、全園をつぶさに調査したりすれば例外もあると思うが、日本では当たり前のようにある入園(所)式や運動会が無い国も少なくなく、逆に遠足やクリスマス会については今回抽出した国々のほとんどで行われている。日本の園でよく行われている発表会についても全ての国で行われているわけではない。日本では発表会は幼児の学習成果の発表の場として位置づけられている園が少なくないが、特に欧米の国ではこういう見方はしておらず、実施したとしても幼児の演技はあくまでフィンランドのように催しの一つであり、韓国や中国そして日本も合わせ、アジアでは学習成果を目に見える形で見せる機会として捉えているのではないかと推測される。

この様に日本で行われている行事も、世界に目を向ければ必ずしも絶対ではない。それでもそれぞれに子ども達が成長しているのは、各国・各園で子ども達に対して何が必要かを考えた理念があるからであると考ええる。各行事を行うことも大事であるが、その行事行うための方法を探ることと同時に、その行事が何のために行われているのかを考える事は、より深く子どもの成長を考える機会になるのではないかと考えられる。

先行研究について

今回研究課題と考える行事という教育内容について「いかに実施するか、教えていくか、」についての研究は見られたが、「行事が何のために行われているのか、」について考察している研究は多くはない。そうした中で余公(2022)は幼稚園等における「行事教育、」の目的やねらいにおける変遷と小学校教育との関係性に着目し考察している。その考察の最後に余公は「明治

期の学制発布から戦前・戦後を通して重視されてきた学校種は小学校(初等教育)であり、行事教育も小学校等を中心に展開されてきた。幼稚園における行事は、小学校の行事教育と関連しながら展開してきたことについても言及する必要がある。」とも述べている。³⁾ 実際、例えば運動会を見ても小学校で良く見られていた組み体操等は、保育施設における運動会でも少なからず見ることができる。活動それ自体にはねらいや意味があるので、子ども達にとっては意味のある経験であり学びであると思えるが、果たしてそれが行われている意味について再考し、幼児期の子ども達にとってどれだけ必要な行事なのかを一考する事も大事であると思える。

また、キリスト教教育の観点から幼児期における行事のねらいや意義について考察した松尾(2022)は、その中でクリスマス期における商業施設での本来の意味とはかけ離れた装飾の仕方などを想起させつつ「昨今の保育事情も変化し、保護者のニーズも高まり、商業施設も本来の意味を表すことなく、ディスプレイされている。」と述べ、保育の装飾化に警鐘を鳴らしている様に思える。⁴⁾ 実際、日本の就学前教育において人数比で77.4%の子は私立施設で教育を受けている。⁵⁾ 私立園においては経営面で園児確保は重要であり、安定した経営のためにも自園における教育内容と効果を入園検討者により魅力的に見せる必要があるのも事実である。

コロナ禍で行事の実施体制が大きく揺さぶられた今だからこそ、各行事が持つ意味を今一度見直し、子どものための保育の在り方を考えていく事は重要であると考えた。

研究方法

調査対象園の保護者に対して質問紙調査(無記名自記式)を行うものとする。対象幼稚園でも実施している、日本の幼児教育における主だった5つの行事「入園式」「発表会」「運動会」「遠足」「クリスマス会」について保護者の意識を調査し分析する。各行事における共通する調査項目は以下の通りである。

- ①この行事はどの程度が子どものための行事だと思いますか
- ②この行事の目的はどこにあると思いますか。(※幼稚園教育要領における5領域に準じて分類し質問)
- ③(コロナの影響は考慮せず)この行事は今後もあって欲しいですか?
- ④この行事について保護者の協力度合いについてよりあった方が良いと思うか

これらについて回答した保護者の性別、勤務形態(専業主婦(夫)、パートタイム勤務、フルタイム勤務)についても質問項目としている。

対象学年

対象園における全学年の家庭を対象とする。

調査について

今回の調査対象は福島県の中部（いわゆる県中地域）郡山市にある幼稚園である。学校法人の幼稚園であり、定員は150名、在園児はプレスクールである2歳児、そして満3歳から年長児の園児併せて170名程度の在園児がいる中規模園である。

アンケート時期：令和4年7月11日～7月20日

アンケート方法：アンケート用紙を保護者に配付し、後日回収した。

アンケート対象学年及び年齢：全学年（①2～満3歳児 ②年少（3歳児） ③年中（4歳児） ④年長（5歳児））

・アンケートの回収数（n）＝141

・学年別回収数（n）：2～満3歳児…14，年少（3歳児）…43，年中（4歳児）…43，年長（5歳児）…41

・就業形態別回収数：専業主婦（主夫）…57，パートタイム勤務…19，フルタイム勤務…65

集計及び統計についてはMicrosoftExcel2016を使用した。ソフトの内部処理の関係で割合について合計値が100%にならない場合がある事をご承知置きいただきたい。

なお、行事数及びアンケート項目が多岐にわたるため、今回は紙面の関係で先の海外との比較において違いが大きかった、すなわち海外ではあまり行われていない「入園式」「運動会」の二つについて概要を分析するに留め、他の行事及び複数項目の関連分析は別の機会に行うこととする。

倫理的配慮

本研究については、郡山女子大学ヒトを対象とする研究に関する倫理委員会による承認を受けている。調査データは個人が特定できないよう処理を行うため、個人情報漏れることは全くないよう配慮することも合わせて保護者及び保育者に説明をした。

調査結果

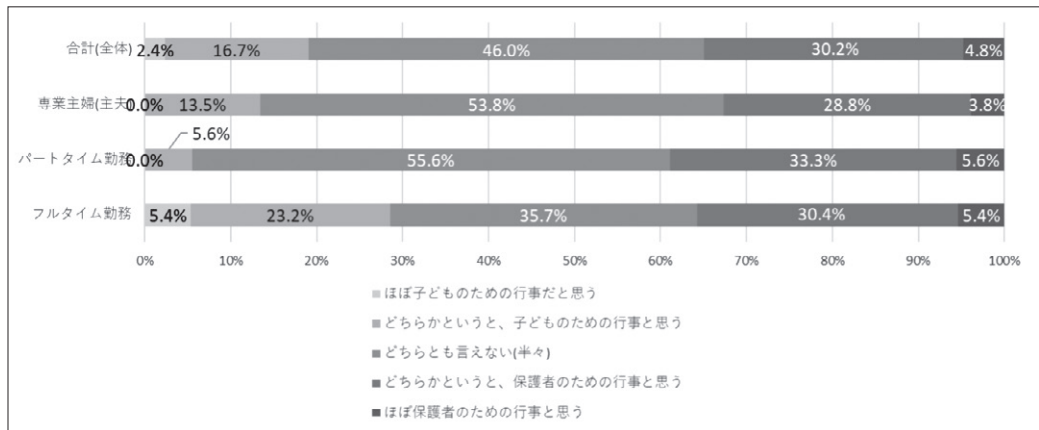
先に述べた下記の行事について、それぞれの質問項目を回答者の職務形態毎に分けた結果が次の通りである。

1. 「入園式」

（1）誰のための行事か

この問いに関して興味深いのは、フルタイム勤務の回答者において「どちらかというと、子どものための行事だと思う」が他の回答の倍前後（フルタイム：23.2%、専業主婦（主夫）

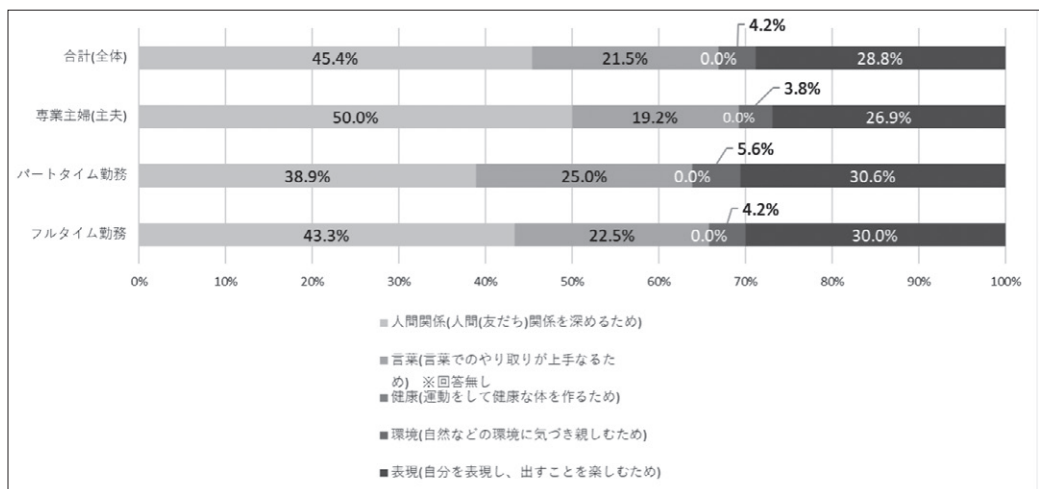
【表1】(入園式) 誰のための行事か



13.5%、パートタイム5.6%)の割合であった点である。また、これに伴い「どちらとも言えない」の割合も他の二つよりかなり低くなっている。様々な見方が考えられるが、保育施設に預ける中で子どもと離れる時間が多くなることで「家庭とは離れた保育でのことに対する客観的な見方」や「子どもは自分(親)から独立した存在」といった意識が強くなり、こういった結果になっている可能性も考えられる。

(2) 行事の目的

【表2】(入園式) 行事の目的(5領域別)

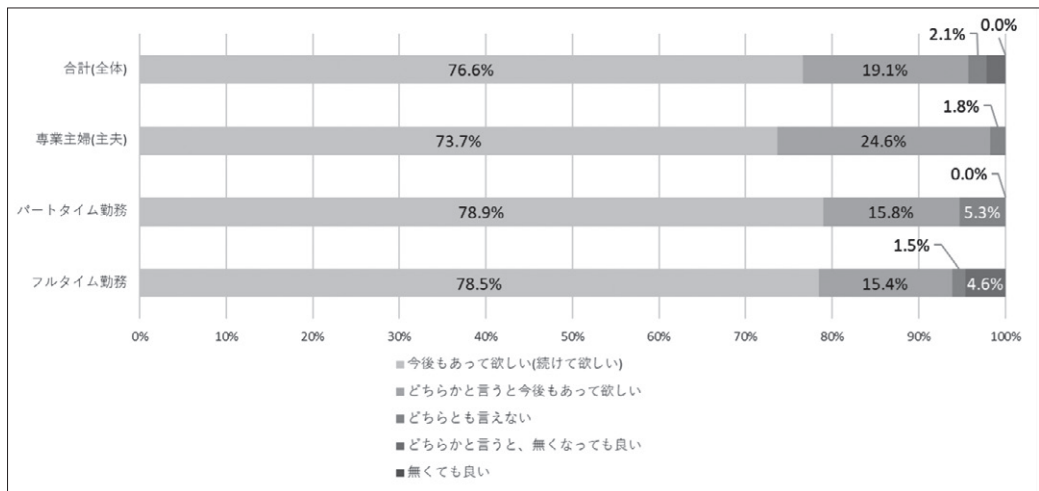


これについては、大きな差異は見られないが「人間関係」については専業主婦(主夫)の回答で半数が人間関係(を築く)ためと回答し他より多めの割合を示している。これは施設保育等を利用することが少なく、現在のコロナ禍での社会状況においては、子どもの人間関係の拡

大に限界がある事から、保育最初の日において友だちを作るきっかけとして、より強い期待を持っていると見る事が出来る。

(3) 今後もあって欲しいか

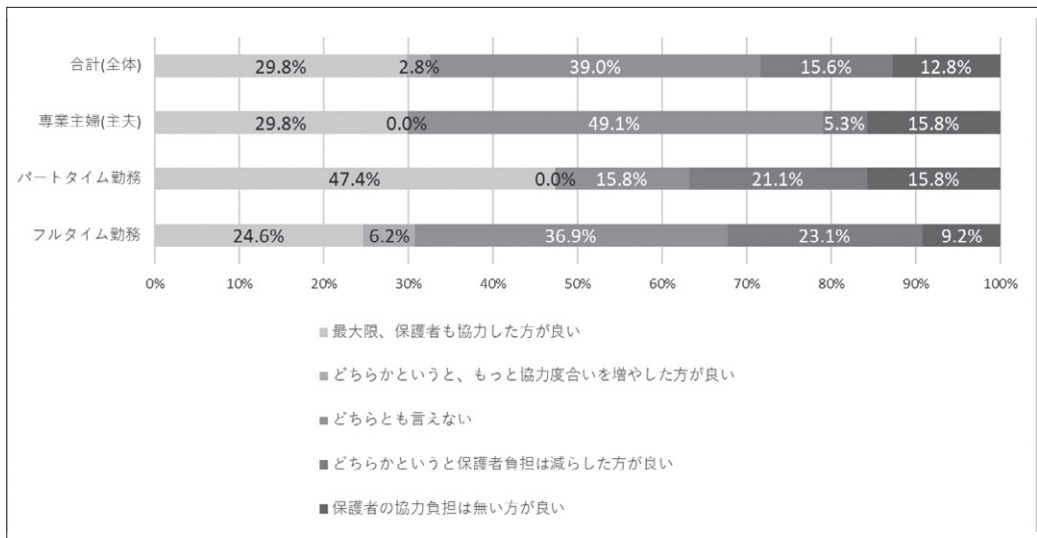
【表3】(入園式) 今後もあって欲しいか



これについては大きな差異はなく、これからも存続して欲しいという気持ちが大半を占めている。他国では見られにくい行事であるが日本では完全に根ざしていることが伺える。ただし、パートタイム・フルタイム勤務層については「どちらかと言うと無くなっても良い」が5%前後となっており専業主婦(夫)層(1.8%)より高い数値を示している。就業についての社会環境が変化する中で、こういった意識がどう変化していくのか、そして施設保育の行事(保育内容)についての見方とどういう関係があるのかも含め興味があるところである。

(4) 保護者の協力について

【表4】(入園式) 保護者の協力について

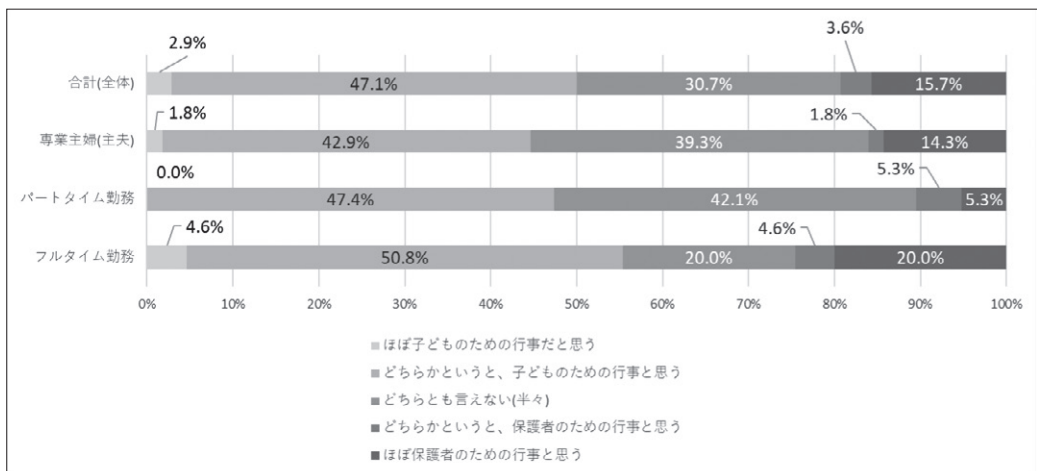


これについてはパートタイム層において「最大限協力した方がよい」の回答割合(47.4%)が他の2層の回答割合の2倍近い数値を示している。パートタイム層の回答数自体が少ないので振れ幅が大きいことを勘案する必要はあるが、特異な結果が見られることは興味深いところである。保育への関心、参加意識が高いとも考えられる。

2. 「運動会」

(1) 誰のための行事か

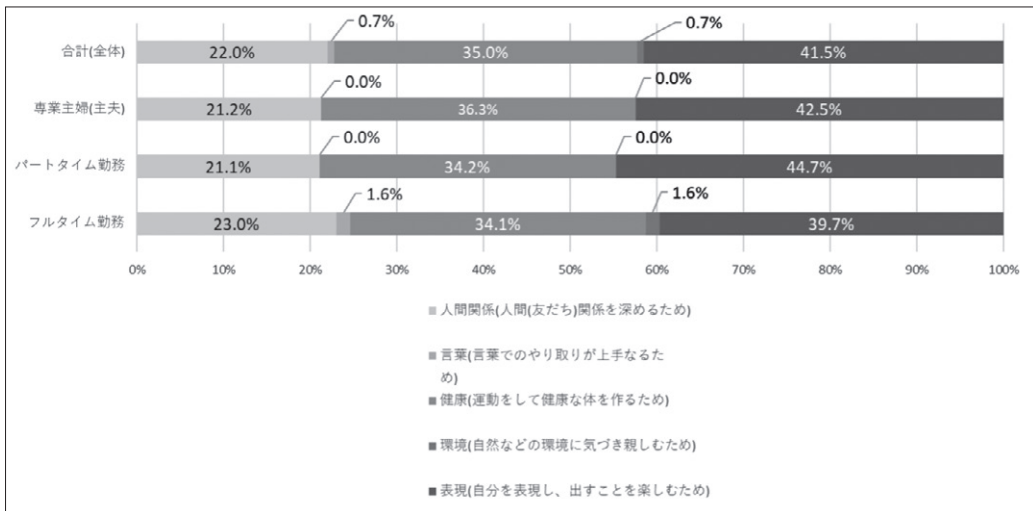
【表5】(運動会) 誰のための行事か



運動会が誰のためかという見方については、3層で大きな差異は見られず「(どちらかというと) 子どものための行事」が半数近くを占めている。なお、これも先の入園式同様にフルタイム勤務層において、「どちらとも言えない」の回答割合が他の2層の半分近い割合となっている。

(2) 行事の目的

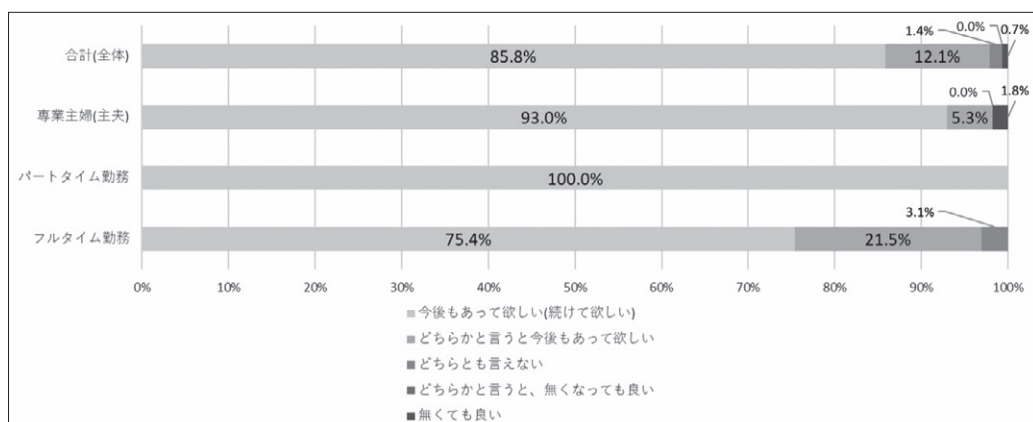
【表6】(運動会)行事の目的(5領域別)



これについても3層ともほぼ同じ傾向を示し、その全てで最も多い割合であったのが「表現」領域であった。単純に考えると「運動、会であるので健康領域が多くを占められるがそうでなかった。競技・演技の中で子どもが精一杯のぞんでいる姿を期待しているのか、それともダンスなどの表現演技を重視しているのか、それともこれが対象園独特の傾向なのかはここから見ることは出来ないが、様々な可能性が考えられ、興味深く感じられる。

(3) 今後もあって欲しいか

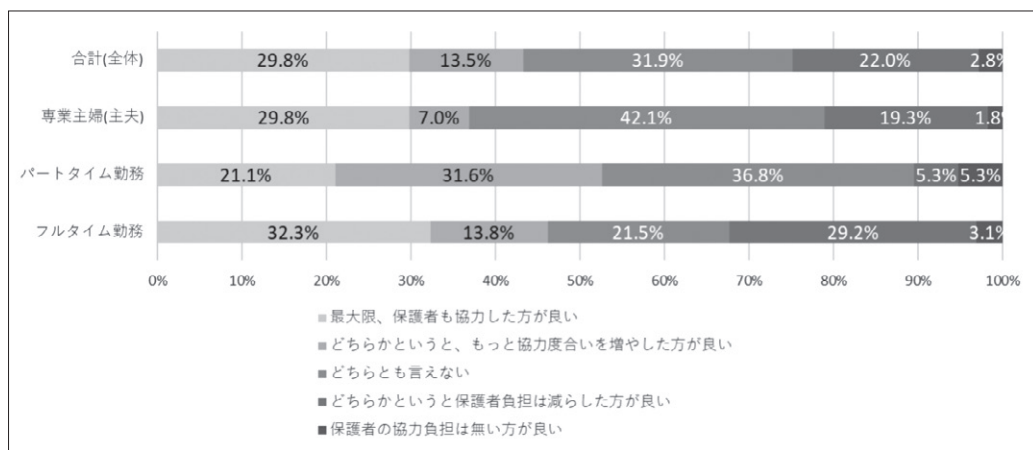
【表7】(運動会) 今後もあって欲しいか



パートタイム層において「今後も続けて欲しい」が全てであった点が目に付くが、他の層においても「どちらかと言えば続けて欲しい」を含めるとその全ての層で90%の後半を示しており継続の希望は強い。ただし、フルタイム勤務層ではその「どちらかと言えば、の割合が多い点(21.5%)と、専業主婦(夫)層において僅か(回答数は1)ではあるが「無くても良い」の回答が見られている点が、今後の意識変化に繋がるのかは興味深い点である。

(4) 保護者の協力について

【表8】(運動会) 保護者の協力について



これについてはパートタイム層においてのみ「(どちらかと言うと)もっと協力して欲しい」回答割合が50%を超えている(52.7%)点と、フルタイム勤務層においては「どちらかと言うと保護者負担は減らした方が良い」の割合が29.2%と他の層より管理高い割合を示しているのをはじめとし、他の2層より5つの回答それぞれに分散している印象を受ける。フルタイム勤務

ということから、保育活動は園に任せたい気持ちと、運動会という親自身も休みであることから園へ協力したい気持ちの間で、それぞれに気持ちがかかっていると考える事が出来る。

おわりに

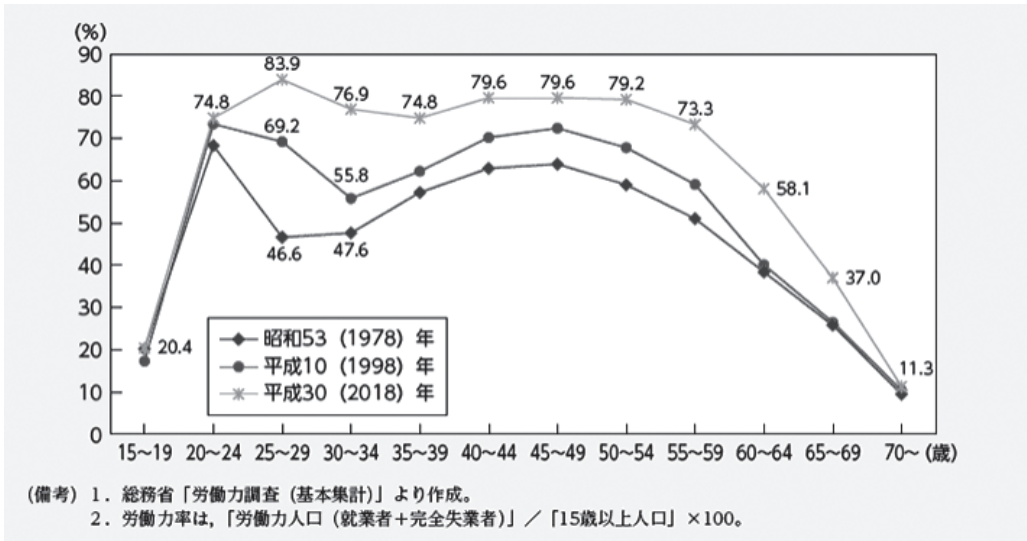
アンケート結果から見ると対象園に関しては全体的にこれまでのいわゆるレガシー的な行事に対してポジティブに受け止められていた。そうした中でパートタイム層においては行事への協力意識について他の層よりも高い割合を示すなど、特異な意識も見られた。

それぞれの行事についても少なからず「無くても良い」気持ちを持っている保護者もあり、特に勤務時間が多いフルタイム層については行事自体への意識の変化が垣間見られる。今回は私学助成園単独での調査であったが、今後対象園を広げることで保護者意識の全体像と動向が見えてくる可能性が感じられる結果となった。

また、今回の調査における回答数(専業主婦(主夫) …57, パートタイム勤務…19, フルタイム勤務…65)から、幼児期の母親の就労については2極化の傾向を感じる。パートタイムという勤務形態は以前から子どもが小さいうちに降園(下校)時間での迎えに適応する形の勤務形態であったが、社会環境で保育施設や学校での預かり保育の充実により乳幼児期の専業主婦からフルタイムでの就労への移行や、正規雇用の継続によるフルタイム勤務の割合が多くなっている。それは表9にある調査からも見る事が出来、育児の中に就労がより深く関わってくることで行事を含めた園の教育への見方が変わってきていることが想像出来る。表9においても特に30～34才という子育て世代の2018年の就労率(労働力率)が一つ前(1998年)との比較でも約1.37倍の76.9%となっており2022年においてはより高くなっていることが容易に想像出来る。そうした育児環境の変化は子どもの発達にも少なからず影響を与えることだろう。各保育施設がそうした状況を踏まえ、子どもの発達をどう支えていくかは今後より重要になるであろう。

各園の行っている教育(保育)内容を打ち出すことも重要であるが、現代の子育てにおいて充足していること、または不足しているものを考え、そこにどうやって家庭と手を合わせてアプローチしていくかは今後において重要なテーマになり得ると考え、ひいては幼保3法令(幼稚園教育要領、保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領)や小学校以上の学習指導要領で目指す「社会に開かれた教育課程」にも繋がるものになるのではないかと考えつつこの次の研究に繋いでいくこととする。

【表9】女性の年齢階級別労働力率の推移⁶⁾



〔引用・参考文献等〕

- 1) 千葉県千葉市通知文書，新型コロナウイルス感染症予防に配慮した活動、行事の取り入れ方について,2020
- 2) 表の参考サイトは以下の通り。

	アメリカ	イギリス	フランス	デンマーク
入園式	https://esse-online.jp/articles/-/12466	https://reipanta.com/parenting/early-education-childcare/	https://tabizine.jp/2020/03/23/329828/	https://www.sunrise-school.jp/childminder/world_content03.html
卒園式	https://www.sony-oyakotime.work/entry/kidergarten-graduation	http://atsuko-uk.diary.to/archives/cat_175399.html	https://tabizine.jp/2020/03/23/329828/	https://www.sunrise-school.jp/childminder/world_content03.html
遠足	http://lifeinsfbayarea.com/%E6%97%A5%E6%9C%AC%E3%81%A8%E3%81%AF%E3%81%93%E3%82%93%E3%81%AA%E3%81%AB%E9%81%95%E3%81%86%E3%82%A2%E3%83%A1%E3%83%AA%E3%82%AB%E3%81%AE%E5%B0%8F%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E3%81%AE%E9%81%A0%E8%B6%B3/	https://chiik.jp/5a5yk/	https://ameblo.jp/queseraseria/entry-12418881021.html	https://www.babycome.ne.jp/blog/1505691/
運動会	https://www.d-side.jp.com/ryugaku-post/2017/09/07/americanschoolactivity/	https://www.pandamama-eigoikujij.xyz/entry/2018/10/06/223000	https://ikujira.com/11488/	https://danskdesign.jp/blog/203/
発表会	https://www.hitomiwatanabe.com/japanese-vs-american-preschools-part-2/		https://ikujira.com/11488/	https://www.zenbunka.or.jp/zenken/archives/2013/12/skovbornhave_i_danmark.html
クリスマス会	https://shibaiei.exblog.jp/10372637/	https://globe.asahi.com/article/11530087	https://saolin.info/2017/12/19/noel-a-la-creche/	https://www.sunrise-school.jp/childminder/world_content03.html

保育における行事教育についての一考察

	フィンランド	韓国	中国
入園式	https://note.com/workshopomena/n/n21f2abcb9c2b	https://yumimama-howto.com/archives/1922	https://mainichi.jp/articles/20180403/org/00m/070/001000d
卒園式	https://note.com/workshopomena/n/n21f2abcb9c2b	https://yumimama-howto.com/archives/1922	https://www.excite.co.jp/news/article/Searchina_20190325107/?p=2
遠足	https://tabi-labo.com/193620/kind-finland	https://yumimama-howto.com/archives/1922	https://www.nakamura-u.ac.jp/~hashimot/members/papers/Vol1/Vol1-1.pdf
運動会	https://note.com/workshopomena/n/n21f2abcb9c2b	https://yumimama-howto.com/archives/1922	https://www.nakamura-u.ac.jp/~hashimot/members/papers/Vol1/Vol1-1.pdf
発表会	https://note.com/workshopomena/n/n21f2abcb9c2b	https://ameblo.jp/babytreatment/entry-12432169429.html	https://www.nakamura-u.ac.jp/~hashimot/members/papers/Vol1/Vol1-1.pdf
クリスマス会	https://note.com/workshopomena/n/n21f2abcb9c2b	https://yumimama-howto.com/archives/1922	https://news.yahoo.co.jp/article/s/bda47716b28b223653a22ee4002575bb8017b80e

- 3) 余公裕次,我が国における行事教育の総合的考察(一),活水論文集第65集,p.187,2022
- 4) 松尾裕美,キリスト教保育における「行事」の取り扱いについて-子ども達に伝える日本の様々な行事について-,福岡女学院大学紀要 人間関係学部第23号,p.89,2022
- 5) 文部科学省,私立学校の割合,諸外国の教育統計 令和3(2021)版,2021
- 6) 内閣府男女共同参画局, I -第2章第3図女性の年齢階級別労働力率の推移,男女共同参画白書 令和元年版,2020